

◆「古都祝奈良—時空を超えたアートの祭典」が開幕！！

9月3日（土）、「東アジア文化都市 2016 奈良市」のコア期間「古都祝奈良—時空を超えたアートの祭典」がついに開幕しました。

10月23日（日）まで、51日間にわたり古都奈良がアートに染まります。

【開会式】

川俣正さんの作品「足場の塔」を展示している大安寺塔跡で開催した開会式には関係者や市民、事前お申し込みの全国からのお客さまなど約200名が参加しました。

開会までの舞台上では、姉妹都市韓国・慶州市の芸能団が、伝統芸能を披露し参加者の皆さまをお出迎えしました。

式典では、仲川市長が「奈良だけでなく全国へ、この事業の波紋を広げていきたい」と意気込みを語り、また、中岡文化庁次長からは、「この事業が未来志向の日中韓の繋がりとなることを願う。」との想いが伝えられました。

続いて、「東アジア文化都市 2016 奈良市」のパートナー都市である中国・寧波市と韓国・済州特別自治道の代表者や駐大阪大韓民国総領事からご挨拶をいただきました。

そしていよいよ、開幕のテープカットです。

主催者代表、来賓の方々と合わせ、古都祝奈良の美術部門を手掛けたアーティストや「東アジア文化都市 2016 奈良市」アドバイザーの北川フラムさんらが並び、合図と同時にさみを入れ、事業の成功を祈願しました。



「古都祝奈良」開幕のテープカット

【前夜祭：アーティストトーク&ガーデンパーティー】

また、開会式に先立ち、9月2日（金）には、ならまちセンターにおいて美術部門の作者たちによるアーティストトークとガーデンパーティーを開催し、関係者や一般申し込みの市民の方々など約300名が参加しました。

アーティストトークでは韓国・慶州市の伝統芸能「サムルノリ」に続いて、川俣正さんと北川フラムさんによる記念対談「場の力とアート」、その後「古都祝奈良」美術部



川俣正氏×北川フラム氏 対談

門の八社寺アートプロジェクト・ならまちアートプロジェクトの各アーティストが登壇し、それぞれの作品紹介を行いました。

アーティストトークに引き続き芝生広場で開催したガーデンパーティーでは、舞台芸術部門ディレクターの平田オリザさん、食部門ディレクターの船越雅代さんの挨拶の後、仲川げん奈良市長が乾杯、また、ウェルカムドリンクのほか、ポップアップレストランでの「ルンダンアヤム(若鶏のインドネシア煮込み)」を使った「ナラ・チャ



アーティストによる作品紹介



「古都祝奈良」の開幕を祝して乾杯

ンプル」や、バーテンダーの世界大会で3位に入賞された宮崎剛志さんによる奈良のお酒を使ったカクテル「古都祝奈良」の提供もあり、皆さんは舌鼓を打ちながら親交を深めていました。



「ナラ・チャンプル」



カクテル「古都祝奈良」

◆アートプロジェクトの全ての作品が完成！ 八社寺のアートを紹介

9月3日・4日にはアート作品の鑑賞ツアーを開催しました。

完成した八社寺アートプロジェクトの作品をご紹介します。(ならまちアートは次回ご紹介します。)

東大寺：蔡國強（中国）
 「船をつくる」プロジェクト」



春日大社：紫舟+チームラボ（日本）
 「まだ かみさまが いたるところに
 いたころの ものがたり」



興福寺：サハンド・ヘサミヤン（イラン）
 「開花」



元興寺：キムスージャ（韓国）
 「演繹的なもの」(石舞台)



元興寺：キムスージャ（韓国）
 「息をつくために一国旗」(小子坊)



大安寺：川俣正（日本）
 「足場の塔」



薬師寺：シルパ・グプタ（インド）
 「光のない影」



唐招提寺：ダイアナ・アルハデイド（シリア）
 「ユニコーンの逃避行」



西大寺：アイシャ・エルクメン（トルコ）
 「池からプールから池へ」



担当：奈良市東アジア文化都市推進課

電話：0742-27-0120

FAX：0742-27-0121

Mail：culturecity-nara@city.nara.lg.jp



公式HP



Facebook



Twitter